



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年5月13日

上場会社名 日東精工株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5957 URL https://www.nittoseiko.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 材木 正己
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 財務部門担当 (氏名) 松本 真一 TEL (0773) 42-3111
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第1四半期の連結業績 (2019年1月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	8,398	5.8	724	△9.9	758	△8.4	504	△3.3
2018年12月期第1四半期	7,937	10.0	804	16.1	828	13.1	522	10.7

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 647百万円 (87.8%) 2018年12月期第1四半期 344百万円 (△34.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	13.58	—
2018年12月期第1四半期	13.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第1四半期	43,816	28,059	58.4
2018年12月期	43,353	27,674	58.2

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 25,569百万円 2018年12月期 25,221百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	5.50	—	6.50	12.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期 (予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2018年12月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 4円50銭 創立80周年記念配当 1円
 2018年12月期 期末配当金の内訳 普通配当 5円50銭 創立80周年記念配当 1円

3. 2019年12月期の連結業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	17,200	7.3	1,470	1.5	1,540	2.0	940	9.1	25.27
通期	35,400	4.8	3,100	4.9	3,250	1.7	2,050	1.0	55.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期1Q	39,985,017株	2018年12月期	39,985,017株
② 期末自己株式数	2019年12月期1Q	2,792,800株	2018年12月期	2,792,231株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期1Q	37,192,616株	2018年12月期1Q	37,485,958株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(企業結合等関係)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中貿易戦争などの影響により総じて景気の減速が鮮明となりました。国内においては、好調な企業収益により個人消費は堅調に推移する一方、世界経済の減速を背景とした輸出の低迷などにより力強さを欠く状況となりました。

このような経営環境のもと、当社グループは、新たな中期経営計画「NITTOSEIKO Mission"G" (2019年～2022年)」をスタートさせ、グループの有機的結合によるシナジーの追求の他、グローバルな事業領域の開拓と拡充、お客様満足度向上への徹底的実践など、中期ビジョン「顧客・市場のニーズにグループの総合力でより高く応える。」の実現に向けた取り組みを展開してまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は83億9千8百万円（前年同期比5.8%増）、営業利益は7億2千4百万円（前年同期比9.9%減）、経常利益は7億5千8百万円（前年同期比8.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億4百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

セグメント別の概況につきましては、次のとおりです。

<ファスナー事業>

当事業につきましては、一般ねじは国内外の自動車関連業界を中心に堅調に推移しましたが、主力の精密ねじにおいて、ゲーム機向けの需要が回復基調にあるものの、低調となったことに加え、前年中の原材料価格上昇などにより、利益率は低下しました。

このような状況のもと、自動車の軽量化ならびに製造コストの削減に貢献する樹脂用セルフタッピンねじ「カラーレスタイト」を市場に投入し、自動車関連業界を中心に需要の拡大に努めました。併せて、当社グループ内の情報共有をはかり、販売ならびに技術支援の強化に取り組みしました。

この結果、売上高は58億6百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は1億2千9百万円（前年同期比54.5%減）となりました。

<産機事業>

当事業につきましては、中国の景気減速を背景に、昨年好調であったロボット部品メーカーの設備投資が低調となるものの、国内外の自動車関連業界においては、電動化や自動運転関連部品向け設備の需要が好調さを維持し、標準機・自動組立ラインともに伸長しました。

このような状況のもと、自動車の駆動系部品に多用されるボルトの締結に適した高機能型ドライバ「NX500T3」を市場に投入し需要の拡大に努めました。併せて、海外グループ会社との連携を強化し、新たな市場の開拓に取り組みしました。

この結果、売上高は20億4千4百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は5億4千6百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

<制御事業>

当事業につきましては、流量計は米中貿易戦争の先行き不透明感への懸念から、国内需要は力強さを欠く状況となりました。一方、自動車関連業界においてシステム製品「MISTOL」の需要が増加したことに加え、地盤調査機「ジオカルテ」が好調に推移し、利益面を中心に大きく伸長しました。

このような状況のもと、軟弱地盤の多いタイ国を始め、アジア諸国における地盤調査機「ジオカルテ」の普及を目指して産学研究に取り組みました。併せて、国内グループ会社との合同販売活動による新たな需要喚起に努めました。

この結果、売上高は5億4千6百万円（前年同期比15.1%増）、営業利益は4千8百万円（前年同期比349.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4億6千2百万円増加し、438億1千6百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が2億4千6百万円減少した一方、たな卸資産が3億3千1百万円、有形固定資産が2億1百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7千7百万円増加し、157億5千6百万円となりました。これは主に、未払金が9億5千7百万円減少したのに対し、電子記録債務が8億5千1百万円、支払手形及び買掛金が2億円増加したことなどによるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億8千5百万円増加し、280億5千9百万円となりました。これは主に、利益剰余金が2億6千万円、為替換算調整勘定が6千2百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績及び需要動向を踏まえ、2019年2月13日に公表した2019年12月期の第2四半期累計期間（2019年1月1日～2019年6月30日）及び通期（2019年1月1日～2019年12月31日）の業績予想を変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,104,640	9,196,221
受取手形及び売掛金	8,362,843	8,115,901
電子記録債権	2,618,480	2,702,133
商品及び製品	2,415,466	2,649,587
仕掛品	2,170,167	2,139,835
原材料及び貯蔵品	1,650,286	1,778,084
未収入金	752,739	667,695
その他	105,487	152,704
貸倒引当金	△2,900	△3,029
流動資産合計	27,177,211	27,399,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,283,593	3,248,004
機械装置及び運搬具(純額)	2,369,721	2,447,883
土地	5,339,781	5,365,124
建設仮勘定	418,865	561,154
その他(純額)	393,123	384,561
有形固定資産合計	11,805,083	12,006,727
無形固定資産		
ソフトウェア	73,212	79,205
顧客関連資産	47,700	45,000
のれん	120,715	113,752
その他	8,739	8,728
無形固定資産合計	250,367	246,686
投資その他の資産		
投資有価証券	2,391,743	2,433,816
繰延税金資産	719,553	674,348
退職給付に係る資産	597,468	626,953
長期預金	10,000	—
その他	403,418	430,148
貸倒引当金	△1,000	△1,000
投資その他の資産合計	4,121,183	4,164,266
固定資産合計	16,176,634	16,417,680
資産合計	43,353,846	43,816,814

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,128,447	4,328,476
電子記録債務	2,131,206	2,982,797
短期借入金	2,431,520	2,602,744
未払金	1,368,984	411,928
未払法人税等	506,354	218,671
賞与引当金	164,631	345,765
その他	1,232,106	1,240,174
流動負債合計	11,963,249	12,130,559
固定負債		
長期借入金	631,671	616,629
役員退職引当金	62,106	56,190
役員株式給付引当金	23,212	27,114
繰延税金負債	341,425	339,380
退職給付に係る負債	2,442,094	2,380,899
その他	215,537	206,166
固定負債合計	3,716,047	3,626,381
負債合計	15,679,296	15,756,940
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,522,580	3,522,580
資本剰余金	2,636,899	2,636,899
利益剰余金	20,704,662	20,965,342
自己株式	△1,028,930	△1,029,233
株主資本合計	25,835,211	26,095,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147,432	163,914
為替換算調整勘定	△511,059	△448,063
退職給付に係る調整累計額	△250,511	△241,855
その他の包括利益累計額合計	△614,138	△526,004
非支配株主持分	2,453,475	2,490,288
純資産合計	27,674,549	28,059,873
負債純資産合計	43,353,846	43,816,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	7,937,403	8,398,265
売上原価	5,803,772	6,270,938
売上総利益	2,133,631	2,127,326
販売費及び一般管理費	1,329,202	1,402,341
営業利益	804,428	724,985
営業外収益		
受取利息	10,811	10,603
受取配当金	441	409
受取賃貸料	18,214	21,544
持分法による投資利益	16,612	10,806
その他	24,490	49,905
営業外収益合計	70,570	93,269
営業外費用		
支払利息	3,185	3,890
賃貸収入原価	10,004	12,238
為替差損	21,041	31,396
その他	12,730	12,507
営業外費用合計	46,962	60,033
経常利益	828,036	758,221
特別利益		
固定資産売却益	1,654	1,398
負ののれん発生益	3,124	—
特別利益合計	4,778	1,398
特別損失		
固定資産処分損	1,781	125
特別損失合計	1,781	125
税金等調整前四半期純利益	831,033	759,493
法人税、住民税及び事業税	219,644	199,437
法人税等調整額	36,406	30,752
法人税等合計	256,051	230,189
四半期純利益	574,981	529,303
非支配株主に帰属する四半期純利益	52,610	24,323
親会社株主に帰属する四半期純利益	522,370	504,980

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	574,981	529,303
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,559	14,274
為替換算調整勘定	△229,308	91,978
退職給付に係る調整額	24,609	8,656
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,018	3,100
その他の包括利益合計	△230,276	118,009
四半期包括利益	344,704	647,313
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	343,827	593,114
非支配株主に係る四半期包括利益	877	54,198

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(企業結合等関係)

企業結合に係る暫定的な処理の確定

2018年5月31日に行われた株式会社伸和精工との企業結合において、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されており、のれんとして計上していた金額の一部を組み替えております。

取得日現在において無形固定資産である顧客関連資産に54,000千円、繰延税金負債に16,524千円が配分された結果、暫定的に算定されたのれんの金額は162,593千円から37,476千円減少し、125,117千円となっております。

なお、のれん及びのれん以外の無形固定資産に配分された顧客関連資産の償却期間は5年であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	ファスナー	産機	制御	計	
売上高					
外部顧客への売上高	5,574,482	1,887,866	475,054	7,937,403	7,937,403
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,574,482	1,887,866	475,054	7,937,403	7,937,403
セグメント利益	284,301	509,319	10,807	804,428	804,428

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	ファスナー	産機	制御	計	
売上高					
外部顧客への売上高	5,806,730	2,044,560	546,974	8,398,265	8,398,265
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,806,730	2,044,560	546,974	8,398,265	8,398,265
セグメント利益	129,485	546,927	48,572	724,985	724,985

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。